



感動のそばに、いつも。

観光市民アンケート調査・事業提案アンケートの結果

令和7(2025)年11月25日(火)

◆ 観光市民アンケート

- ・市民の皆様の観光に関する意識や市の観光政策・施策の方向性を検討するための基礎資料として活用するため観光市民アンケートを実施します。
- ・回答いただいた内容は、回答者が特定されないように集計し、新計画を策定している「伊勢市観光振興基本計画推進委員会」の会議資料として提出し、内容の一部を新計画に掲載をする予定をしております。
- ・回答期限:令和7年10月31日(金)17時まで
- ・回答数:370件

観光市民アンケートにご協力ください

市民の皆様の観光に関する意識や市の観光政策・施策の方向性を検討するための基礎資料として活用するため観光市民アンケートを実施します。

回答いただいた内容は、回答者が特定されないように集計し、新計画を策定している「伊勢市観光振興基本計画 推進委員会」の会議資料として提出し、内容の一部を新計画に掲載をする予定をしております。

▶ [回答フォーム【観光市民アンケート】\(外部リンク\)](#) □

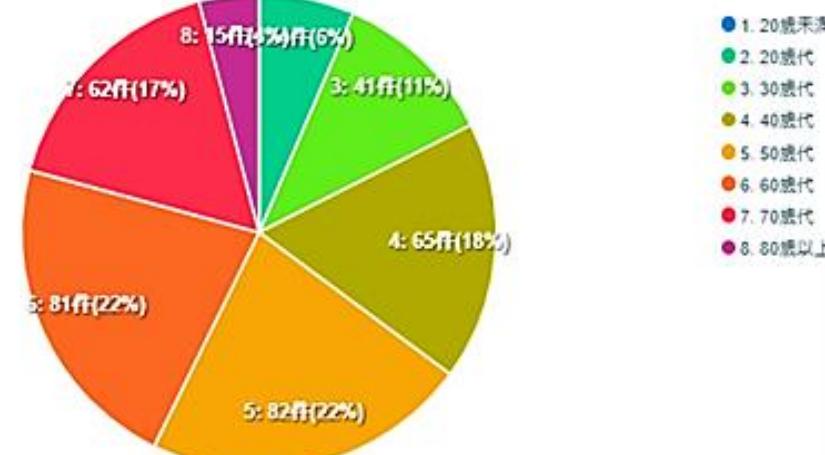
回答期限: **令和7年10月31日(金曜)17時まで**

観光市民アンケート調査 集計結果

JTB

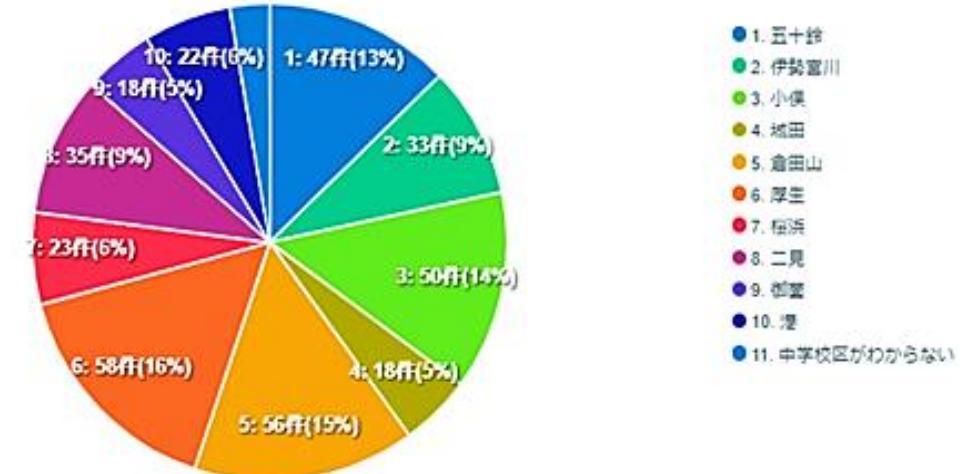
■属性

年齢を教えてください



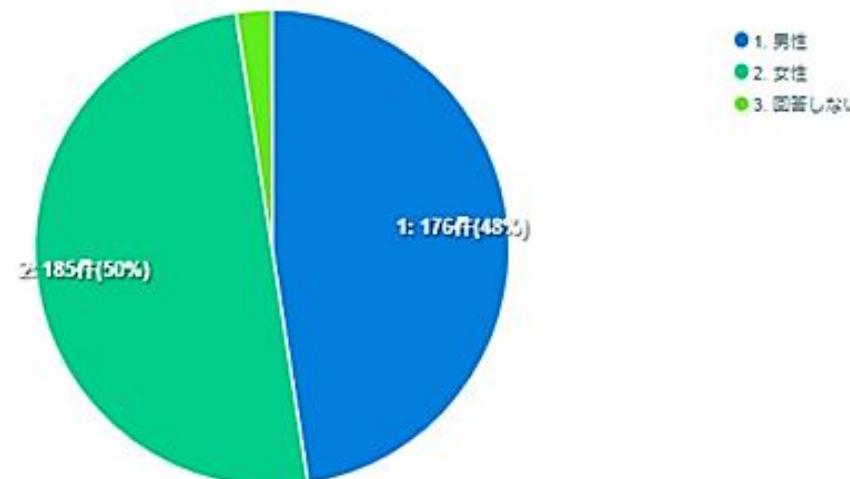
- 1. 20歳未満
- 2. 20歳代
- 3. 30歳代
- 4. 40歳代
- 5. 50歳代
- 6. 60歳代
- 7. 70歳代
- 8. 80歳以上

居住している中学校区を教えてください



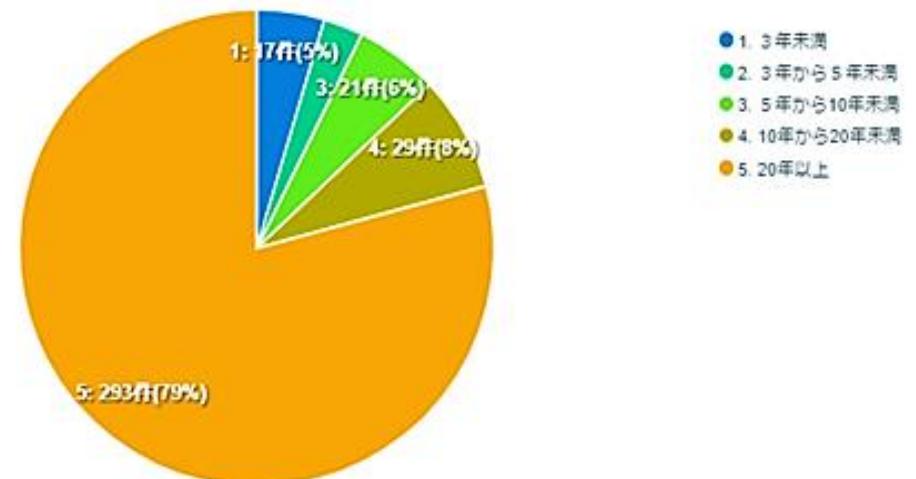
- 1. 五十鈴
- 2. 伊勢宮川
- 3. 小俣
- 4. 塩田
- 5. 金田山
- 6. 厚生
- 7. 桐浜
- 8. 二見
- 9. 須賀
- 10. 湿
- 11. 中学校区がわからない

性別を教えてください



- 1. 男性
- 2. 女性
- 3. 回答しない

伊勢市在住歴を教えてください



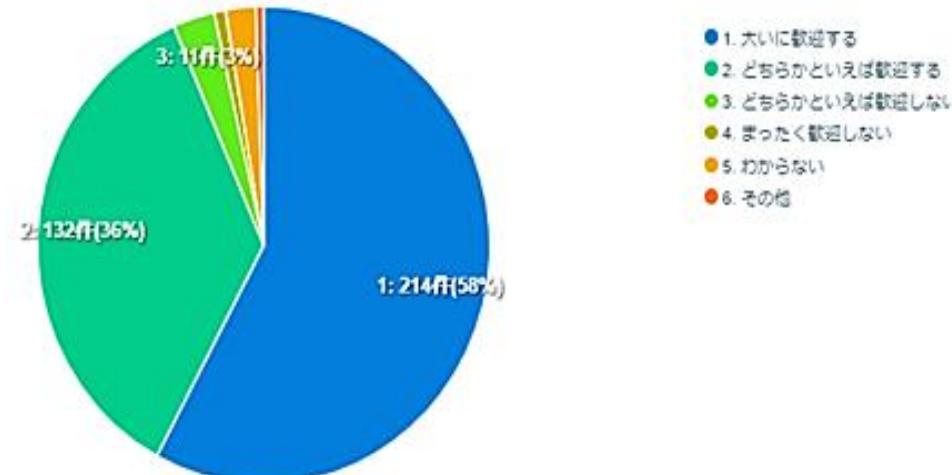
- 1. 3年未満
- 2. 3年から5年未満
- 3. 5年から10年未満
- 4. 10年から20年未満
- 5. 20年以上

観光市民アンケート調査 集計結果

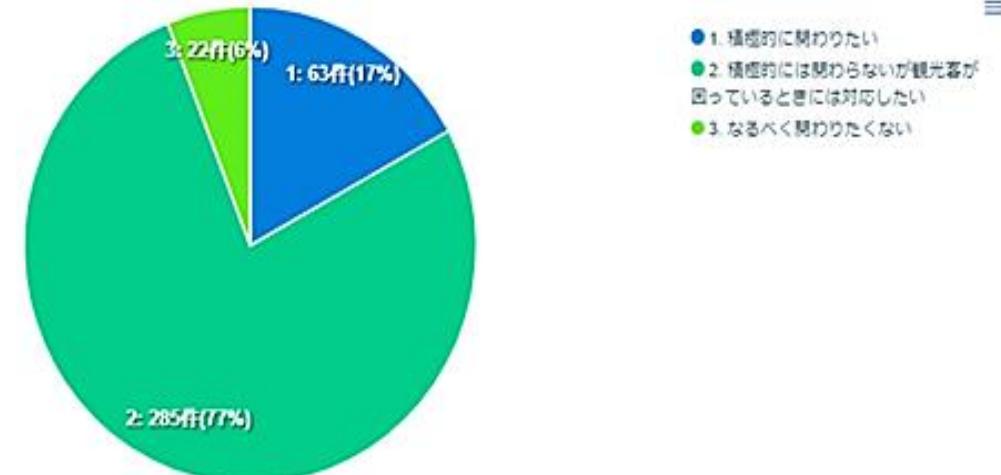
JTB

■調査内容

あなたは、伊勢を訪れる旅行者を歓迎したいと思いますか



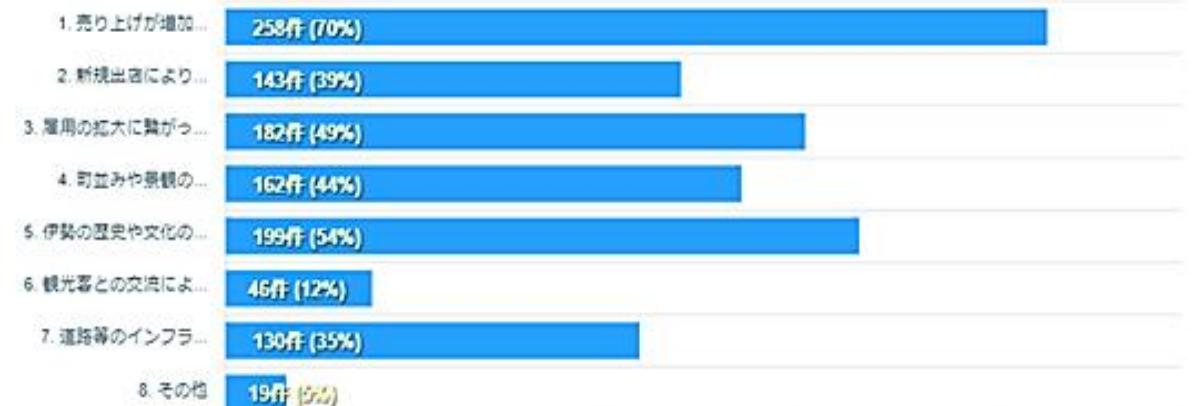
あなたは、伊勢を訪れる旅行者とどの程度かかわりを持ちたいと思いますか。該当するものすべてを選択してください。



どのような場面で観光客と積極的に関わりたいと思いますか。（複数回答）



伊勢市が観光地であることによって、市民生活にどのような良い影響がありますか。該当するものすべてを選択してください（複数回答）

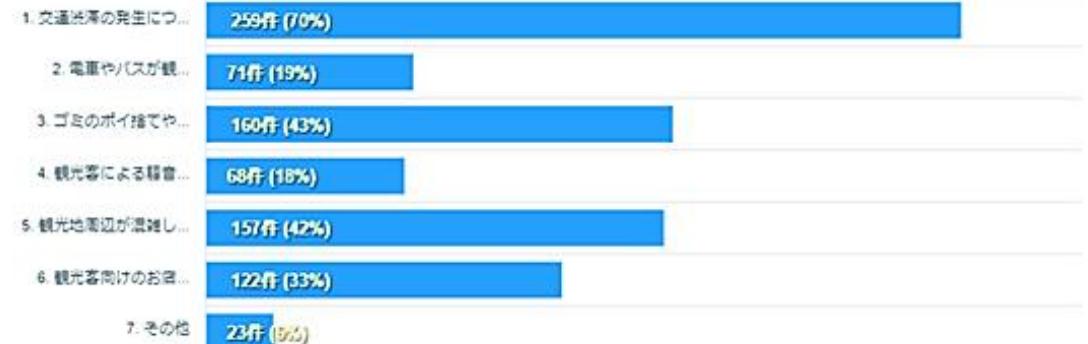


観光市民アンケート調査 集計結果

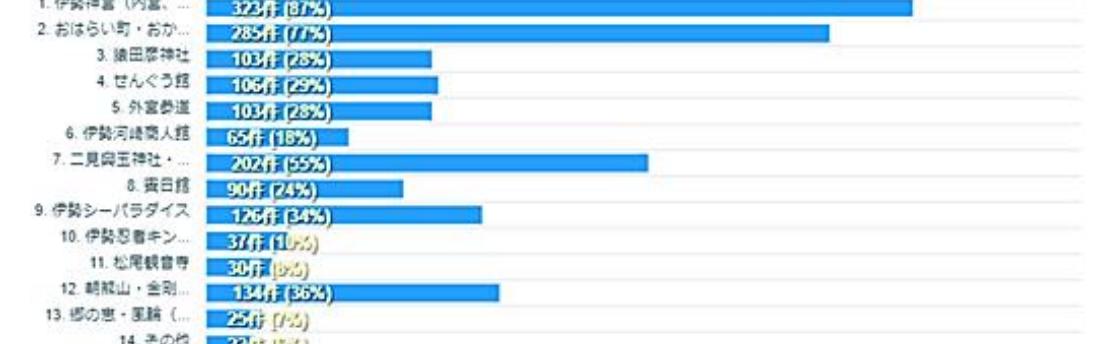


■調査内容

伊勢市が観光地であることによって、市民生活にどのような悪い影響がありますか。該当するものすべてを選択してください（複数回答）



市内の観光スポット（施設）で市外の友人等にお勧めしたいところはどこですか（複数回答）

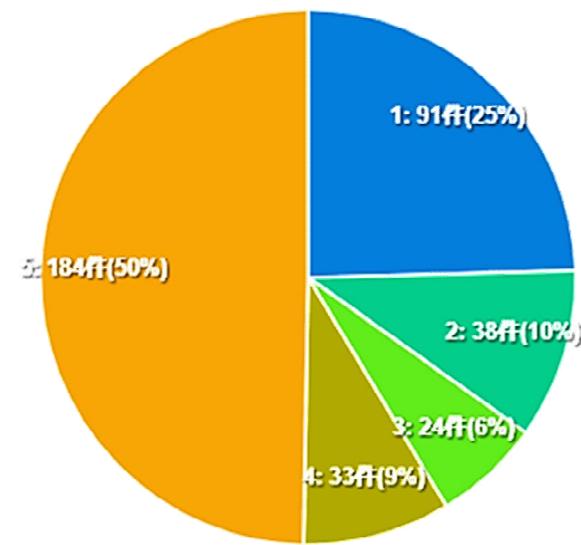


今後伊勢市で実施して欲しい（した方が良い）観光施策をすべて選択してください（複数選択）

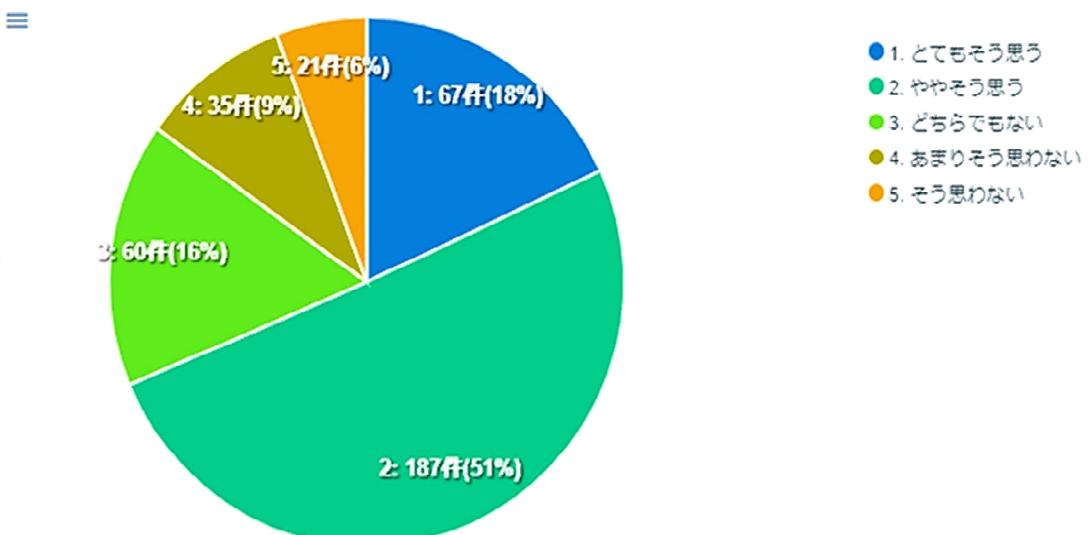


■調査内容

サイクリングに関してどのような交流機会、サークルがあれば参加したいですか



伊勢市は市民生活と観光が調和した「住んで良し、訪れて良し」のまちであると思いますか



● 市民による観光客のおもてなしについて

- ・ 伊勢市民として、観光客が来て当たり前という意識でいるのではなく、旅行先に伊勢を選んでくれた全ての一人一人に感謝の気持ちを持って迎え入れられる町になってほしいと心から思う。
- ・ 住民と観光客の間には垣根を感じる。解消法の一つに相互コミュニケーションがあるが、伊勢神宮のようなメジャー「観光地」の観光客の大半は住民に興味がない。市民生活との調和を目指すのであれば課題の一つだろう。

● 伝統・文化の継承について

- ・ これまで、遷宮にあわせ伊勢のまちづくりがされてきました。次回遷宮に向けて、どのように全国からの参拝者をお迎えしていくのかを議論し、そのために必要な街づくりを計画、実行する必要があると思われる。
- ・ 伊勢市の伝統と文化は是非継続してもらいたいです。私の住んでいる町でも会式は未だに開催されて盛り上がりがって楽しいです。他の町が無くなっていくのは寂しいです。

● 宿泊施設、ナイトタイムコンテンツについて

- ・人気スポットの営業が午後5時に終了するなど、全くやる気が感じられない。観光客が夕食後やナイトタイムを楽しめる企画がなく時間を持て余す状況を改善する気もない。
- ・素泊まりのホテルが増え、夕食を外でとる観光客の増加に夕食前の17時～18時くらいに時間がつぶせる場所があるとよい。夏場の明るい時間に外宮参道で夕食まで行くところがなく困っている観光客の声をよく聞いた。
- ・式年遷宮に向けて、ホテルの建設も行われるようですが、宿泊する観光客が夜楽しめる場所がない。神宮の参拝時間を遅くする、外宮周辺で夜の飲食店を増やす、おはらい町の閉店時刻を遅くする等、対策が必要。

● 神宮以外の魅力の発信について

- ・観光にとって食も楽しみの1つ。魚介類や蓮台寺柿等の特産品もアピールしてほしい。
- ・市民のSNS発信を活用した観光の情報の拡散の積み重ねで伊勢に興味を持つもらうキメ細かな取り組みが不足していると思う。
- ・歴史しかない町、神宮しかない町にならないように、6次産業化や周遊性の向上を進めて、多様な体験ができる町になってほしい。

● オーバーテーリズムへの懸念

- ・ インバウンドへの投資より市民生活のみに投資が必要と感じる。市民生活に寄り添う計画が全く成されていない。
- ・ 市民が正常な生活ができなければ観光地があっても受け皿となる人手が無いのは本末転倒である。
- ・ 観光事業の活性化は良いことと思いますが、伊勢市及び市民に適切に還元されるように進めていただきたいです。
- ・ 伊勢市は昔からおもてなしの精神で観光客のみなさんを受け入れてきた。その一方で慢性的な渋滞により内宮周辺に住む地域住民には我慢を強いてきたところである。渋滞対策や駐車場対策は喫緊の課題と思う。

◆ 今後の伊勢市において必要な事業のアイデアを募集(事業アンケート)

- ・ 様々な視点から市が今後実施していくべき事業を検討するため、皆様のアイデアを募集します。
- ・ 提案いただきました内容は、提案者が特定されないように内容を整理し、新計画を策定している「伊勢市観光振興基本計画 推進委員会」の会議資料として提出し、内容の一部を新計画に掲載をする予定をしております。
- ・ 回答期限:令和7年10月31日(金)17時まで
- ・ 回答数:27件

今後の伊勢市において必要な事業のアイデアを募集します

様々な視点から市が今後実施していくべき事業を検討するため、皆様のアイデアを募集します。

提案いただきました内容は、提案者が特定されないように内容を整理し、新計画を策定している「伊勢市観光振興基本計画 推進委員会」の会議資料として提出し、内容の一部を新計画に掲載をする予定をしております。

※すべての回答を第3回伊勢市観光振興基本計画委員会で公開しました

提案いただいた内容は、必ず事業化されるものではないことをご了承ください。

▶ [回答フォーム【アイデア提案】\(外部リンク\)](#) □

アイデアの提案期限: **令和7年10月31日(金曜)17時まで**

● 神宮式年遷宮や伝統行事の活用と深化について

- 伊勢の観光の核である神宮式年遷宮や地域に根差した伝統行事について、**単に観光客が「見る」だけでなく、より深く「参加し、体験する」ことで、伊勢への愛着や理解を深めてもらう機会を創出すべきだ**という意見が多く寄せられました。
- これにより、観光客が伊勢の歴史や文化に触れ、長期的な関係人口へつながる可能性が期待されています。



(代表的な意見)

- ご遷宮を見る観光でなく、長期にわたり踊りを練習、ゴールとして、御木曳、お白石持ち行事に踊りで参加できる機会・環境を提供。
- 伊勢ならではの行事(お祭り・式年遷宮のご奉仕)へのご参加を国内外に募り、伊勢歴史と在り方に触れて頂き、伊勢に来て、見て、体験して、伊勢を好きになってもらい、これからの中伊勢、未来へ続く常若伊勢へと繋げてゆきたい。

● 街づくり・地域活性化(中心市街地、周遊性、魅力創出)について

- 伊勢神宮周辺の観光客集中と、それ以外の市街地、特に駅周辺の魅力不足が指摘される中で、伊勢市全体としての滞在型観光を促進し、観光客の回遊性を高めるための具体的な街づくりに関する提案が多数寄せられました。
- 単なる通過点ではなく、訪れる人々が街全体を楽しみ、繰り返し訪れたくなるような魅力的な空間を創出することを目指しています。

(代表的な意見)

- 伊勢市駅前から外宮までの大通りにおしゃれなカフェや、レストラン、チョコレート専門店、アパレルショップ、ブランドショップ等、今のトレンドに合わせた店を道の両側に作って、人が駅から楽しみながらまっすぐ歩いて外宮に向かう。イメージ的にシャンゼリゼ通りの日本版。
- 宇治山田駅前を(中略)市民と観光客が滞留できるようなスペースにしましょう。(中略)例えばですが、公園広場にした上で休憩ができるような場所も作り、一角には沢村投手や野口みずきさんを紹介するような写真パネルを作るもよし、実物のお木曳の台車を展示するもよし、市民から本の寄付を募って無料の図書コーナーを作ってもよいと思います。週末にはフリーマーケットやキッチンカーイベントを開いたり、ストリートバンドのミニライブを開くなどもいいと思います。
- 内宮周辺以外への観光客の分散化と伊勢市産の農産物等のアピールと販売を目的とし、新しい道の駅の開業を目指してほしい。(中略)多気町のvisionのようなインパクトのある施設になれば、観光客の増加も見込めるでは?
- 伊勢市駅前ビル1階のモデルハウスが終わったら、レンタルスペースにして、期間限定のチャレンジショップ(カフェの新規開拓)や、イベント会場に利用できるようにする。

● 交通アクセスについて

- 伊勢市における交通渋滞の問題や、公共交通機関の利便性の低さが観光客の周遊性を妨げているという認識から、交通インフラの抜本的な改善を求める声が多く聞かれました。
- 既存の交通手段の改善だけでなく、新たな交通システムの導入や、より広域からのアクセス向上を目指す具体的な提案がなされています。

(代表的な意見)

- 以前走っていた路面電車のようなバス以外の交通機関(たとえばモノレール)を新設する。伊勢市駅の敷地を再開発してJRの操車場の敷地にビルを建てて、公的機関を集約する。南勢バイパスと市内を踏切を通らなくてもよい道路を街中に新設する。または鉄道の高架化を再検討する。
- バス料金が高い。伊勢市駅、外宮、内宮、循環で安くする。
- 川舟での移動。浦田から内宮。河崎から内宮。タンデム自転車の特区
- 大阪や名古屋からの高速バスで、観光客に来てもらう。普段から近鉄やJRしかない地元民と違い、国内の他の地域から来られる観光客や、海外からの観光客にとって、初めて行く場所の電車やバスに乗るのは難しいと思う(特急券や乗り場の移動なども含めて)ので、直通で伊勢に来れるバスを運行する。セントレアや関空など空港からが無理ならば、名古屋駅や、難波(上本町)から。1日に何本もなくても、とりあえず行き帰り一本ずつでも良い。指定席ではなくてもいいので、予約制が良い。電車ではないので、渋滞なども考えると繁忙期は難しいかもしれないが、観光客だけではなく、伊勢市周辺に住む人の移動手段としても使えるので、とても便利だと思う。

● インバウンド誘致について

- ・伊勢市が他の主要観光地に比べて外国人観光客(インバウンド)の誘致において遅れをとっているという現状認識に基づき、伊勢の持つ独特の魅力や神宮の深い歴史・文化を、いかに効果的に国内外に発信していくかに関する具体的な提案が多数寄せられました。
- ・多言語対応の強化や、観光客の心に響くような情報提供の工夫が求められています。一方で市としてインバウンド誘致に注力することを疑問視する意見もありました。



(代表的な意見)

- ・神宮の敷地内は日本語でも解説がごく僅かで、日本人でさえも説明を聞くまでは理解できない事も多々あります。(中略)解決のために、駅や案内所等で数か国語の説明パンフレットを配布して頂く事を提案します。それを見ながら神宮を周れば、神宮の歴史を通して文化や伝統、それを受け継ぎ守ってきた日本人の精神世界の理解につながり、伊勢に来てよかったです、日本の事をより深く理解できた、帰国して家族や友人にもその魅力を伝えよう、と思ってもらえると思います。
- ・百年以上観光地のネームバリューがあり築き上げた「伊勢」という観光地の中でわざわざインバウンドや観光への投資は不要(中略)。伊勢市が観光地への直接投資をするのではなく、生活インフラを整備するだけで空き地などの投資は勝手に民間が考えると思う。

● 宿泊施設や体験コンテンツの拡充・多様化について

- 伊勢市が日帰り観光客に偏りがちな現状を打破し、より長期滞在を促すためには、宿泊施設や体験コンテンツの拡充と多様化が不可欠であるという意見が多く見られました。
- 既存の宿泊施設に加え、新たなコンセプトのホテル誘致や、地域資源を活用したユニークなコンテンツの提供を通じて、観光客の満足度向上と地域経済への貢献を目指しています。



(代表的な意見)

- 伊勢にある古市街道も昔の街道の一つですが、現在はその面影はほぼ無くただの生活道路になってしまっています。(中略)例えば片側1車線(一方通行)の道路にしてその分歩道を広く取り、案内板をもっと充実させて、天気のいい日には観光客が外宮から内宮まで歩いて昔の気分を味わう、そんな道にできないものでしょうか。
- 分散型ホテルの拡大(商店街の活用)
- リゾート展開する宿泊施設誘致
- キングダムとの協力による、二見旅館街をも取り入れた江戸時代体験(修学旅行生や海外の旅行客などに、街全体を江戸・戦国時代にした二見を体験宿泊してもらい、日本の昔を体感してもらうもの。
- 二見町の夫婦岩や海水浴場近辺も、昔は多数の旅行者や修学旅行で賑わっていたが、今は全くと言ってよいほど人がいません。少し前、ネットゲームのお陰で、人が増えましたが、その様なイベントをメーカーとコラボする事を検討してみては。

● その他の意見

- ・「また伊勢に会いにくる」をテーマに、滞在型観光の促進と地域回遊の仕組みをつくります。まず、「伊勢と言えばこのキャラクター！」と言われるようなシンボルキャラクター創出します。(中略)季節ごとの街並みの演出、香り・シンボルキャラクターを使った名産品とのコラボ展開を行い、訪れるたびに異なる“伊勢の顔”と出会える仕掛けをつくります。このキャラクターをハブにして、観光・宿泊・地域産業が連動することで、「一度では語り尽くせない伊勢」を体感できる持続的な観光モデルを実現します。
- ・勢田川の水質を改善しましょう。吹上ポンプ場から日によっては黄土色、茶色、銀紫色、その他形容できないような汚い水が流されており、潮の満引きによっては小田橋あたりまで逆流し、酷い悪臭を放つ時もあります。(中略)最近では河崎に高級ホテル(旅館?)も開業したようで、国内外から宿泊客が訪れているはずですが、伊勢の汚い部分を見せているようで、市民として非常に悔しい思いです。
- ・伊勢神宮を中心とした、完成されたメジャーな観光は従来通り推進の必要はあるが、近年の価値観の多様化を受け、マイナーな観光も推進した方が良い。(中略)マイナー志向の観光客は少数であると推測されるが、(メジャーな観光客が完成された価値を消費するのと違い)観光客自身が価値を見出すその能動性によって、より深く町と関わることとなる。関係人口を産み出す可能性が高く、その関係人口はメジャーな観光にも繋がる好循環が期待できる。
- ・太平洋岸自転車道の利用を推進する (ツールドジャパン)
- ・伊勢市駅で待つ所が無い。駅構内にカフェ(パン屋とか)を作って欲しい。唯一の参道カフェは10:00オープンで其れ迄用事で行き待っている場所がない。
- ・外宮勾玉池の有効活用。例えば季節の花をもっと沢山植える。周囲を散策出来る様にする。



感動のそばに、いつも。